

第 46 回鋼構造基礎講座

成功から学ぶ

～長持ちしている歴史的鋼橋～

隅田川に架かる鋼橋の船上見学会/講習会

令和 6 年 10 月 8 日

土木学会 鋼構造委員会

鋼構造継続教育推進小委員会

まえがき

土木学会 鋼構造委員会 鋼構造継続教育推進小委員会では、若手など初級・中級技術者や上級技術者でも専門分野外の基礎技術を習得するための継続教育(CPD)を目的として、これまで鋼橋の設計、施工、維持管理などに関するさまざまなテーマで基礎講座を毎年2回実施してきました。

今回は、第46回鋼構造基礎講座として「成功から学ぶ～長持ちしている歴史的鋼橋～」を企画しました。国内ではインフラ構造物の老朽化という深刻な問題に直面する一方で、架橋から長い年月を経た現在においても立派にその役割を果たし続けている歴史的鋼橋は数多くあります。このように長持ちしている鋼橋には長持ちする理由があり、それらを成功事例として学ぶことは、非常に大切なことであると考えられます。

本講座は、歴史的鋼橋の成功事例に関する対面方式の講習会に加え、隅田川に架かる実橋の船上見学会という講義構成としました。講習会の聴講に加え、今なお美しい歴史的鋼橋の姿を実際に見て頂くことを通して、建設業界の今、そして未来を担う皆さま方にとって有意義な機会となることを切望しております。

令和6年 10 月

鋼構造継続教育推進小委員会

委員長 大垣 賀津雄

目次

1. 歴史的鋼橋に見る鉄道橋の再生とリサイクル-----	1
小野田 滋（（公財）鉄道総合技術研究所 アドバイザー）	
2. 隅田川の橋は、なぜ長寿なのか？-----	62
紅林 章央（（公財）東京都道路整備保全公社 道路アセットマネジメント推進室長）	

講師 プロフィール

小野田 滋 氏 （公財）鉄道総合技術研究所 アドバイザー

土木学会土木図書館委員長 文化庁文化審議会文化財分科会第二専門調査会委員

愛知県豊橋市出身 昭和 54 年日本国有鉄道入社

山岳トンネルの地質調査に携わり、国鉄の民営・分割後は、鉄道構造物の保守管理などに従事するとともに、文化庁や自治体などの依頼で近代化遺産の調査にも携わる。

著作に『鉄道と煉瓦』（鹿島出版会）、『東京鉄道遺産』『関西鉄道遺産』『鉄道構造物を探る』（以上、講談社）、『橋とトンネル』（河出書房新社）、『100 年橋梁』（土木学会共著）、『東京の美しいドボク鑑賞術』（エクスナレッジ共著）など。

『鉄道構造物探見』（JTB）、『高架鉄道と東京駅』（交通新聞社）で交通図書賞を受賞

紅林 章央 氏 （公財）東京都道路整備保全公社 道路アセットマネジメント推進室長

土木学会関東支部選奨土木遺産選定委員長 元東京都建設局橋梁構造専門課長

東京都八王子市出身 昭和 60 年入都

奥多摩大橋、多摩大橋をはじめ多くの橋や新交通「ゆりかもめ」、中央環状品川線などの建設や永代橋、清洲橋などの長寿命化工事に携わる。

著作に『東京の橋 100 選+100』『HERO 東京をつくった土木エンジニアたちの物語』（都政新報社刊）、『100 年橋梁』（土木学会共著）、『東京の美しいドボク鑑賞術』（エクスナレッジ共著）など。

『橋を透して見た風景』（都政新報社刊）で、平成 29 年度土木学会出版文化賞を受賞